

令和5年度第3回利根町地域公共交通活性化協議会 議事要約

【日 時】 令和6年1月19日（金）14時00分～15時30分

【場 所】 利根町役場 行政棟5階 5-A 会議室

<配布資料>

- ・ 会議次第
- ・ 委員名簿
- ・ 会議資料1 利根町アンケート調査報告書の概要
- ・ 会議資料2 利根町地域公共交通を取り巻く現状と課題
- ・ 会議資料3 令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価
- ・ 参考資料 ふれ愛タクシー登録者・利用者アンケート調査実施報告書
福ちゃん号利用者アンケート調査実施報告書

【出席者】 板谷会長，海老澤副会長，伊藤委員，川上委員，塚田委員，小針委員，
村野委員，仲野委員，寺田委員，中嶋委員，櫻井委員，澤島委員，早川委員，
赤根委員，飯野委員，新井委員，花嶋委員，，勝村委員

【欠席者】 服部委員

【事務局】 政策企画課：布袋課長，渡辺課長補佐，生井係長，五十嵐主査，清水主査

1. 開会 （事務局 司会）

2. 会長あいさつ

3. 議事

事務局（司会）

それでは、会議次第の3. 議事に移りたいと思います。議事進行につきましては、利根町地域公共交通活性化協議会条例第6条第2項の規定により、板谷会長に議長をお願いいたします。

板谷会長よろしく願いいたします。

会長

それでは議事を進めたいと思います。

本日の議事の説明は一部、株式会社ケー・シー・エス様よりいただくということで聞いておりますが、その前に事務局より説明があるそうですので事務局よろしく願いいたします。

事務局

本日の議事（４）にあります事業評価を行う理由について説明をさせていただきます。

本年度から本協議会で協議していただいている地域公共交通計画の策定に当たっては、国土交通省の「地域公共交通確保維持改善事業費補助金」を活用して行っております。

この国の補助金を受けた事業については、毎年度、計画策定事業の実施状況の確認・評価を行い、1月末までに国土交通省（地方運輸局長）に報告する事となっている事から、本日協議をいただくものであります。

住民アンケート調査につきましては、回収期限が昨年12月21日の為、現在集計中でございます。その為、今回の議題に入っていません事をご理解いただけたらと思います。

委員の皆さまに協議をいただく議事1から3につきましては、これまで実施したアンケート調査等の中間報告という位置づけとなりますのでよろしくお願いいたします。

また、最終的な実績につきましては3月下旬頃に協議会を開催しまして、協議いただきたいと考えております。

それでは「（１）各種アンケート調査結果について」株式会社ケー・シー・エス様よろしくお願いいたします。

（株）ケー・シー・エス

*資料に基づき説明（利根町アンケート調査報告書の概要）【資料1】

会長

それでは資料1につきまして、何かご質問やご意見がございましたらお願いしたいと思います。

まず私から、利用者アンケートのそれぞれの回収率はどれくらいだったのでしょうか。

（株）ケー・シー・エス

実利用者の点から考えると、普段ご利用されている方のほとんどからご回答いただいているのかなと思います。

委員

p.7のグラフの数値と分析コメントが整合していない気がします。

（株）ケー・シー・エス

誤値です。グラフの数値が正です。

委員

修正した資料を後日、各委員に送付をお願いしたいです。

会長

アンケート結果から、ふれあいタクシー、福ちゃん号は極めて重要な位置付けの公共交通機関であり、な

くすことが出来ないと思います。これがなくては移動できない方が一定数住んでいられるという事ですので、サービスを減らす事はあっても、なくすと生活に支障が出てしまう為、一定数何らかの形で残していく必要があると思います。一方で、有料化や本数について等、利用に合ったサービスの見直しは必要であると考えました。

路線バスに関しても同様に、通勤で40%程の方が使われている事で、同じように重要であり、なくす事が絶対にありえない路線であると強く感じました。バスがなくなってしまうと、町内から通勤する人が減り、引っ越しをせざるを得ないという方が出てくる可能性がある為、維持しなくてはいけないと感じました。一方で、ニーズは多岐に渡るというのが実情だと思います。これら全てに対応する事は難しい為、ニーズ把握を踏まえて、取捨選択をする必要があるのではないかと感じました。

委員

行きは公共交通機関を利用して、帰りは徒歩が多いという結果になっている事から、徒歩圏内での移動が多いのかと思います。現時点でのアンケート結果なので、5年先を見据えた時に、例えば迎えに行く人がもういなくなっている等、この生活は成り立たなくなっているのではないかと感じました。

現状、1人あたり1台ではなく、家庭に1台の方が多いのではないかと感じます。そうすると、誰かが車を使用していると公共交通機関を頼らざるを得なくなってくると思います。

会長

徒歩が多い結果になっているのは私も驚きました。乗降停留所をとっているのでも、そこを中心的に分析しようと頑張れば距離が出せるので、実際どうかというのはある程度分かると思います。

おっしゃるとおり、5年後・10年後にこのままでいるとは思わない方が良いでしょうね。一方で、それでどうするとなった時に、便数を増やすのが現実的でない以上それをどうするのかはかなりアイデアが必要な感じがします。

委員

逆に、住民の生活パターンを公共交通に合わせざるを得ない部分が出てくるのかなという気がします。

会長

公共交通というのは本来そのようなものなので、これになるべくそうならないようにするために皆さん自動車に乗られているので、難しいところですね。

委員

これは現状をとったものなので、ふれ愛タクシーと福ちゃん号は町内だけを回っているので、当然バスで帰った場合、1時間かかります。バスの場合は「買い物と通勤に分かれる」とありますが、ないので当然の結果です。結果的に、ふれ愛タクシーと福ちゃん号は医療と買い物に分かれています。それはないからです。個人の意見が沢山載っており、「布佐駅まで行って欲しい」「藤代を出て欲しい」とあります。それがあると、通学・通勤が伸びます。それがないので、だれも住めません。陸の孤島という状態で何もできません。もし、住民の意見に合わせたものを作るのであれば、今と全く違うものを作り直さないとこれからは住めない事になっていきます。何より通学・通勤を考えなくてはいけないと思います。

現状でも学校に通う為の選択肢がないので、授業の時間に合わせて近くに停まる等すると良いかと思いません。

会長

ネットワークを検討する際に、公共交通が町内で完結しないといけないというルールはないので、町外への移動も踏まえて検討したいと思います。このままでは、外から利根町に行きにくい、中からも出にくいという状況ですので、このあたりよく考えてネットワークをどうしていくか考えていくと良いかと思えます。

委員

利根町では人口減少・高齢化が進んでいくと推計されています。20年後には70歳以上の方が7割を超えていくという事で、公共交通を必要とする方が増えると考えられます。

公共交通について、運行ルートや時刻表が公表されており、町から公共交通マップが発行されているにも関わらず、これらの情報を知っている人がどれくらいいるのか疑問です。

今後は、近隣市町村との公共交通の連携も考えながら検討して欲しいと思います。

また、高齢になると外出が億劫になり、移動販売や宅配サービスなどを使うようになる人もいます。そのような実情も含めながら、検討をお願いしたいと思います。

会長

ポイントを整理しますと、駅での乗継・他自治体のバスの乗継等の近隣自治体との連携ですね。私は龍ヶ崎市の委員もやっているの、近隣自治体と連携しながら検討していきたいと思えます。

移動販売や宅配サービスに関する情報について、どのように町が発信するかは、事務局と検討していきたいと思えます。

(株) ケー・シー・エス

*資料に基づき説明 (意見交換会・ワークショップの実施結果) 【参考資料】

会長

それでは、ご意見・ご質問ございましたらお願いいたします。

会長

住民代表の委員さんから頂いているご意見とやはり似ていますね。なるべく、このあたりを少しでも生かせる形でネットワークを設計していかないと私を感じています。近隣との関係はきちんと作っていかないとイケませんし、おそらく町内だけで全部完結しようとする事自体が難しいのではないかと思えます。そうしますと、交通だけで解決出来ませんので、必要な商業施設等を誘致する努力も本来必要になります。そういう事が出来るか検討した上で、上手く役割分担をして交通のネットワークを考えていくことが必要になると感じました。

また、回数券等に関しましてもそのとおりでして、支払いや予約の方法についても少しずつ見直しをしていった方が良く感じました。自動運転に関しましては少々現実的に難しいと思うところがありますが、自動運転に乗ってみたいくてわざわざいらしてご飯を食べて帰られるという方が結構いらっしゃるそうです。ど

こかのタイミングで導入してみる価値はあるかもしれません。特に、町内だけを低速でずっと回るといった対応の仕方もあると思います。交通全般を変える種が沢山入った報告書だと感じましたので、可能な限り生かしていけると良いかなと思います。

委員

ふれ愛タクシーは、ネット予約が出来るようになると便利だと感じます。

委員

今後の方向性というところで、社会福祉協議会の方では福祉有償運送のサービスを行っています。障がい者手帳の所持者等を対象に低料金で提供しており、年々利用者が増えています。一人で公共のバス等に乘れない方には喜ばれています。

会長

本来、公共交通分野と福祉分野は共に議論していかななくてはいけませんので、福祉分野とも連携しながら検討をしていくことが重要だと思います。

(株) ケー・シー・エス

*資料に基づき説明 (利根町地域公共交通を取り巻く現状と課題) 【資料2】

会長

公共交通網をみると、町外への移動が不足しているように感じます。どこに行く必要があるのかを考えていくことが重要です。布佐駅は皆行きたいところだと思いますが、栄橋が大変なネックになっていまして、個人的には片側2車線にしなくては話にならないと思いますが、現状の1車線で考えるしかないと思います。

このままでは人口動態は予測どおりに減少していくと思います。それを町として良いと思うかどうかだとは思いますが、何もしないまま予定どおりに高齢化・人口減少が進んでいくというのは戦略としてあまりよくないと私は思います。そうならないように町外との関係を繋げて、住民の方にも便利な公共交通を実現していく必要があると思っています。

委員

1点目、人口メッシュや路線網をみると、北側のニュータウンと南側のニュータウンに人口が集積していますが、それらを繋ぐ南北軸が不十分なようにもみえますが、そのあたりはどうでしょうか。

2点目、布佐駅に行きたいという意見があるという事で、北方車庫～取手駅は高頻度で走っている一方で、利根ニュータウン～布佐駅が極端に少ないと思いました。日立市でパートナー協定(地域・行政・バス会社)を行っていますので、参考になるのではないのでしょうか。「地域住民は利用する事を徹底する、バス会社はサービスを維持する、行政は運行を資金面で支援する。」という3者の役割で日中のバス路線を維持しているという取り組みをしています。これを行うにあたって気がかりになる事が2つあります。1つ目が、自治体がきちんと機能して、地域住民がバスに乗りましようとする機運を高めていただけるのかということです。2つ目が、運転手不足の中でバスの運転手を捻出出来るかということです。こういったところを検討していただくと良いのかと思います。

こちらの資料を公表する場合は、地図内にある駅名称などを修正していただきたいと思います。

(取手、龍ヶ崎等)

会長

日立市の事例は非常に参考になります。布佐駅を運行する路線が減少している原因は乗らないというのがありますが、渋滞があり、栄橋で30～40分かかってしまう為、乗る人がいないというのと、バスのダイヤも組めないという事を事業者様から聞いています。そういった時間帯にバスの本数を出せない分、日中の時間帯にそこそこ出していただいている状況です。

委員

龍ヶ崎市との連携に関して、市のコミュニティバスもありますので、町内で資源を捻出できないのであればそういうところにご協力いただくのも1つの手かと思いました。

委員

移動手段を検討するにあたって、実証実験等をされると思いますが、国の方でも補助金を色々と用意していますので、活用していただきたいと思います。

会長

事務局はご覧いただくようお願いいたします。

委員

先程、バスの本数を増やすのに昼の時間帯とありましたが、本当に動かなくなるのは8:30だと思いますので、それ以前の早朝時間帯なら多少空いているのではないのでしょうか。

委員

私、5年程前まで自家用車で通勤していましたが、朝の6時30分頃から混み合う印象があります。ニュータウン6時00分発が1本目にあり、それは大体時間通りに布佐駅につきますが、2本目の6時30分発は30分以上遅延してしまいます。今ある2本目までが限度かと思います。

会長

6時台から混むので、どうしようもないところがあります。それでも良いから乗るといふ人が沢山いればバスを出せば良いのですが、皆さん自転車や徒歩の方も多くいらっしゃいますので、私はインフラを直す以外方法はないかなと思います。

私個人としては、取手から来ても役場まで行けないので、南北間の連携はないのかというのは思いました。

事務局

ニュータウン・フレッシュタウンは、布佐駅から通っていくのがメインになっています。町の交通等の特

徴を理解してそこに住み始めた方がほとんどですので、子供たちも布川地区の人は布佐駅へ、文地区の人は取手駅へという流れがあり、今まで繋がりがありませんでした。

平成16年頃は、橋が混んでいても自転車の方がほとんどでした。車も一家に1台だったので、そこまで混まずに通勤が出来ていたのかなと思います。そういった時代背景がありますが、今後その辺も含めて検討しなくてはならないと思います。

委員

バス路線の変更はなかなか出来ないと思いますが、若草大橋の効果はどうでしたか。

事務局

若草大橋の方は、茨城県側の方は道路の整備もかなりして、龍ヶ崎を抜けてアウトレットの方までは車が行っています。一定数は利用されている方もいらっしゃいますが、橋を渡るのに210円かかるという事で町でもどうにか出来ないかという検討をしている所です。

委員

結果的に橋を二車線にするしかないですね。橋を二車線にする為には、利根町側の道路も二車線にしなくてははいけませんよね。

事務局

布佐の方の橋は、県の方でも右折・左折レーンはやっていただいて多少流れますが、栄橋自体の橋の距離が短いので難しい所があります。どうにか出来るように検討したいと思います。

事務局

*資料に基づき説明 (地域公共交通確保維持改善事業・事業評価) 【資料3】

※質疑なし

事務局

今後のスケジュールについて説明

(第3回会議について地区懇談会について)

5. 閉会

※終了